

道 -ROAD-

大阪学芸中等教育学校
校長室だより

感染症予防の徹底を

連日雨や曇りの梅雨空が続いてましたが、今週に入り蒸し暑さを感じます。水分補給をしっかりと行い、熱中症には十分気を付けてください。今日 7/22 は 24 節気の第 12 番目「大暑」です。暦の上では酷暑ですが、近畿地方の梅雨明けはまだで、本格的な夏の到来はもう少し先のようなようです。

20 日(月)に 1 学期期末考査が終わりました。昨年 12 月の 2 学期期末考査以来の定期考査でした。十分に実力を発揮できたでしょうか。昨日から続々と返却されていると思いますが、点数に一喜一憂することなく、同じ間違いを繰り返さないようにテストの見直しをすることが大切です。テストが終わり、少し開放感があるかと思いますが、授業時数確保のため昨日から平常授業を行っています。これらの授業内容は 2 学期の中間考査の範囲になります。夏休みをはさむので、いつも以上に集中して臨んでください。

さて、大阪府では新型コロナウイルスの感染者が高水準で推移しており、第 2 波の到来が危惧されます。大阪府からの指針に準じて本校も同様の対応を行います。すでに大阪府内でも学校において複数名の感染者が確認されている状況で、無症状でも濃厚接触者は PCR 検査が実施されます。大阪モデルのステージは 12 日(日)にイエローとなり**感染症対策のさらなる徹底**が求められます。レッドでは分散登校や短縮授業、オンライン授業を行うこととなります。自分自身の最近の生活を振り返り、少し気の緩んでいるところはありますか。前号で示した感染症予防のために行うことを下に再掲しましたので、緊張感を持って生活して欲しいと思います。また、過日大阪学芸高校の同窓会「成器会」様より、生徒の皆さんに一人 2 枚、接触冷感マスクをいただきました。ありがたく使わせていただきましょう。

1. 感染予防のために**自分が行うこと**として
 - ①小まめに**手洗い**をして接触感染を防ぐ
 - ②**マスク着用**で飛沫感染を防ぐ
 - ③十分な睡眠、バランスのとれた食事、適度な運動などの生活習慣を維持する
2. 感染予防のために**みんなで取り組み「ゼロ密」**をめざす
 - ①換気の悪い「**密閉空間**」を避ける
 - ②多数が集まる「**密集空間**」を避ける
 - ③間近で会話や発声する「**密接場面**」を避ける (ソーシャルディスタンスを保つ)

次に、生徒や教職員に感染者が確認された場合の基本的な対応を下記に示します。

1. 府域での感染爆発や児童・生徒のクラスターの頻発など深刻な状況にならない限り、府としての一斉臨時休業は原則行いません。
2. 感染者が確認された場合、判明した翌日から**まずは 3 日間臨時休業** (休日を含む) とします。この間、保健所の指示により調査協力し、濃厚接触者の特定や施設の消毒等の対応を行います。
3. 同一校地の学校 (学芸高校・附属中) から判明した場合も同様の措置となります。
4. 濃厚接触者として特定された場合は、濃厚接触をした日の翌日から起算して 2 週間の出席停止となります。(家族に濃厚接触者がいる場合は、保健所と相談し個別に対応します。)
5. PCR 検査を受検する (ご家族も含む) ことが決まった場合は、速やかに学校までご連絡ください。

濃厚接触者とは、感染者と手で触れる距離 (1m 程度以内) で、マスク無しなどの必要な感染予防策をしないで、15 分以上の接触があった場合などと定義されています。終息の気配の見えない状況で、心配な面も多いですが、上記に示した感染予防策を徹底するしかありません。生徒の皆さんの自覚を望むとともに、保護者の皆様のご協力をよろしく願いいたします。